

# 公益財団法人日本モンキーセンター平成30年度事業計画書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

## <基本方針>

### ◎調査研究

- 霊長類をはじめとする野生生物の生態や行動に関する野外調査
- 霊長類の形態進化・ゲノムに関する調査研究
- 霊長類の生体展示や飼育繁殖、標本、疾病予防、検疫等に関する調査研究
- 国際学術雑誌 Primates の編集と発行
- プリマーテス研究会の開催
- 調査研究に関わるコンプライアンス体制の構築
- 実践基金のための外部資金の獲得

### ◎保護・保全

- 希少種繁殖
- 学会、大学、国内外の研究機関、動物園との連携強化
- 霊長類をはじめとする野生生物とその生息環境の保護・保全に関する研究と活動
- 生息地研修を通じた野生生物の生息環境の情報収集

### ◎社会教育・普及活動

- 京大モンキーキャンパスや日曜サロンの開講
- 各種研修会の開催
- 教育委員会、学校、学会等と連携した教育活動
- 研究者、キュレーター、飼育員によるガイドやイベント

### ◎標本・試資料の収集

- 生物資源の収集活用、デジタル資料、図書資料の収集活用及び調査研究
- 剥製、骨格、液浸標本、遺伝子試料の作成保存、有効活用
- 霊長類資料保存センター（他園からの霊長類標本の受入）

### ◎動物福祉

- 環境エンリッチメント
- 園内のインフラ及び飼育施設の改修整備
- 動物病院の機能拡充
- 生息地研修によって習得した知見の還元
- 「動物愛護法」「外来生物法」「感染症法」等関連法規や各種ガイドラインへの対応

## 《公益目的事業》

### I 研究活動

#### 1 霊長類に関する総合的な調査研究

- (1) 霊長類の社会行動の研究
- (2) 霊長類の進化に関する研究
- (3) 霊長類の形態学的研究
- (4) 霊長類の生態学的研究
- (5) 霊長類の遺伝学的研究
- (6) 霊長類の保全研究
- (7) 霊長類の福祉に配慮した飼育管理に関する研究
- (8) 霊長類の福祉に配慮した獣医療に関する研究
- (9) 霊長類を中心とした教材開発に関する研究
- (10) 霊長類標本の作成・管理に関する研究並びに研究利用
- (11) 霊長類の生体及び標本を活用した連携研究の推進
- (12) 研究会等の積極的参加による情報の交換と収集
- (13) 霊長類稀少種の繁殖に関する研究
- (14) 市民参加による霊長類をはじめとした生物多様性の保全に関わる基礎研究

#### 2 外部研究費による研究活動（確定分のみ）

- (1) 日本学術振興会科学研究費基盤研究C(2016－2018)  
代表者 学術部 キュレーター 赤見理恵  
「プロトコル分析を用いた動物園における学びの構造的研究」  
研究分担者 高野智

### II 学会及び研究会

#### 1 学会及び研究会への参加

- (1) 第55回日本アフリカ学会 (2018年5月、北海道)
- (2) 第34回日本霊長類学会大会 (2018年7月、東京都)
- (3) 第27回国際霊長類学会 (2018年8月、ケニア)
- (4) 第68回日本理科教育学会全国大会 (2018年8月、岩手県)
- (5) 第42回日本科学教育学会年会 (2018年8月、長野県)
- (6) 第20回日本進化学会 (2018年8月、東京都)
- (7) 日本哺乳類学会2018年度大会 (2018年9月、長野県)
- (8) 2018 International Zoo Educators (IZE) Conference (2018年10月、アラブ首長国連邦)
- (9) 第72回日本人類学会 (2018年11月、静岡県)
- (10) 第21回SAGAシンポジウム (2018年11月、熊本県)
- (11) 第58回日本動物園水族館教育研究会 (2018年11月、島根県)
- (12) 屋久島学ソサエティ第6回大会 (2018年、鹿児島県)
- (13) 第25回動物園水族館獣医師臨床研究会 (2019年2月、未定)
- (14) 第65回日本生態学会 (2019年3月、北海道)

- (15) 第25回ヒトと動物の関係学会学術大会 (2019年3月、東京都)
- (16) (公社)日本動物園水族館協会中部ブロック獣医師研究会  
(2018年6月能登島水族館、9月伊豆アニマルキングダム、  
12月名古屋市東山動物園、2019年3月世界淡水魚園水族館)
- (17) 動物園大学 (2019年3月、京都府)
- (18) 水族館大学 (2019年3月、京都府)
- 2 研究会の開催
- (1) 第63回プリマーテス研究会  
開催日：2019年1月26日(土)・27日(日)
- 3 研究会等の受入
- (1) 第27回サル疾病ワークショップ  
開催日：2018年7月7日(土)・8日(日)
- (2) 第2回犬山認知行動研究会議  
開催日：2019年1月5日(土)・6日(日)

### III 出版

- 1 英文学術雑誌「PRIMATES」の発行  
Vol.59 No.3  
Vol.59 No.4  
Vol.59 No.5  
Vol.59 No.6  
Vol.60 No.1  
Vol.60 No.2
- 2 雑誌「モンキー」の発行  
Vol.3 No.1  
Vol.3 No.2  
Vol.3 No.3  
Vol.3 No.4
- 3 平成29年度公益財団法人日本モンキーセンター年報
- 4 第63回プリマーテス研究会記録集
- 5 日本モンキーセンター友の会ニュースレターの発行  
Vol.5 No.1  
Vol.5 No.2

### IV 保全

- 1 コンゴ民主共和国バンドゥン州ボロボ郡バリ地区におけるボノボの保全活動
- (1) バリ地区に分布する野生ボノボ(ンカラ・グループ)の人づけの完成と社会生態学的・行動学的研究
- (2) バリ地区を中心としたボロボ郡のボノボ個体群動態の研究
- (3) バリ地区を中心とした生物多様性保全・再生にかかる研究と実践
- (4) 外部資金による保全活動

①三井物産環境基金 2015 年度活動助成

活動期間 2015 年 10 月～2018 年 9 月 (3 年間)

代表者 附属動物園部 部長 木村直人

「コンゴ民主共和国の稀少大型類人猿ボノボ保全のための感染症モニタリングと普及活動」

2 カメルーン共和国東部州ロベケ国立公園の大型類人猿と生物多様性の保全活動

WWF カメルーン・ロベケプロジェクトチームとの共同展開

- (1) ゴリラとチンパンジーが同所的に観察される地区で、フェノロジーも踏まえた両種の同時人づけを試行し、エコツーリズム展開の可能性を検討する
- (2) 国際武装集団による象牙の密猟対策；ロベケ国立公園管理事務所のパトロール機材支援やレンジャーの生物多様性保全研修機会提供など
- (3) ロベケ国立公園生物多様性モニタリング (7 カ所の定点観測と結果の分析) の継続
- (4) ロベケ国立公園周辺コミュニティの持続可能な開発支援

3 ブータン南部「国境を越えたマナス保全地域 (TraMCA)」の生物多様性保全

WWF ブータン・TraMCA プロジェクトチームとの共同展開

- (1) ロイヤル・マナス国立公園とフィブソ野生動物保護区、ジョモツァンカ野生動物保護区に分布する大型哺乳類やゴールデンランゲールなど稀少霊長類のモニタリング
- (2) TraMCA ランドスケープの生物多様性調査 (両生・爬虫類や鳥類、植物など) 支援
- (3) ゾウやトラなどの大型野生獣と地域コミュニティの軋轢緩和対策支援
- (4) 3つの保護区を繋ぐ“緑の回廊”の保全 (地域住民の生業と環境保全の両立など)

4 コンゴ民主共和国カフジビエ国立公園での保全・研究 (経費がつき次第)

5 ギニア共和国における野生チンパンジー保全ための「緑の回廊」への支援事業

活動期間 2017 年 4 月～2027 年 3 月 (10 年間)

代表者 所長 松沢哲郎

「ボッソウと世界自然遺産ニンバ山の森をつなげる植林および寄附事業」

- (1) 緑の回廊の持続的活動のための寄附事業
  - (2) ボッソウ村及びニンバ山周辺において“チンパンジーの森”を作る植林活動
  - (3) ニンバ山周辺地域での密猟や森林破壊を防止するための環境教育活動
- 6 「スローロリス保全センター」の運営

V 教育普及活動

1 特別展

- (1) 第 1 期「PrimArt 霊長類アート展」
- (2) 第 2 期「サルづくし ～大猿二郎コレクション展～」
- (3) 「写生大会優秀作品展」
- (4) 「モンキーセンター アニマルフォトコンテスト 優秀作品展」

3 第 62 回写生大会の開催

- 4 京大モンキーキャンパスの開講 6 月～11 月開講、毎月 1 回 計 6 回  
サークル活動の継続実施

5 京大モンキーキャンパス研修旅行の実施

6 霊長類研究者による専門的講座・ガイドの実施

- (1) 京大モンキー日曜サロン

(2) その他特別講演

7 学際交流

(1) 学会・研究会等の開催、受け入れ

8 キュレーターによるレクチャー、ガイドツアーの実施

(1) ミュージアム・トーク

(2) その他レクチャー、ガイド等

9 体験イベント

(1) エンリッチメントを体験するイベント

(2) 動物の行動観察を含むイベント

(3) お誕生日会

10 事前募集型イベント

(1) ワイルドサマーキャンプ

11 その他のイベント

(1) ゴリラのタロウさんのお食事タイム（アフリカの自然とゴリラの食事紹介）

(2) オリジナル紙芝居の公演

(3) トウクトウクギボンガイドツアー

(4) 飼育の日イベント 「VS 飼育員」

(5) チンパンジーフェスティバル

(6) 飼育施設対抗なんでもアピール選手権大会 「甲子猿」

(7) 世界キツネザルフェスティバル in JMC

(8) 冬の風物詩・たき火にあたるサル

12 学校教育と連携した教育活動

(1) レクチャー

(2) スポットガイド

(3) ワークシートの開発

(4) 標本等を活用した教材開発

(5) 教員研修会の開催・誘致

(6) 学校団体向け利用のてびき改訂

(7) キュレーターその他職員の学校等への講師派遣

(8) 地元、近隣の教育委員会や教員等への働きかけ

VI 会議・研修

1 生息地研修

(1) 幸島

(2) 屋久島

(3) タンザニア

(4) その他の生息地

2 (公社) 日本動物園水族館協会主催の研修会、全国園館長通常総会

3 (公社) 日本動物園水族館協会中部ブロック主催の飼育技術者研修会

4 (公社) 日本動物園水族館協会生物多様性委員会主催の作業部会

5 (公社) 日本博物館協会主催の研修会

- 6 愛知県博物館協会主催の研修会
- 7 (公社)日本獣医師会主催の研修会
- 8 京都大学主催の研修会や獣医師合同カンファレンス
- 9 各種獣医臨床セミナー

## VII 広報・PR

- 1 インターネットを利用した情報発信
  - (1) Web サイト (日本語版・外国語版)
  - (2) フェイスブック、ツイッター
  - (3) YouTube 公式チャンネル
  - (4) メールマガジン「新 JMC 通信」
- 2 観光協会等と連携した誘致活動
- 3 園内案内パンフレットの作成と多言語対応
- 4 ジャーナリズムへの資料提供
- 5 ポスター
- 6 その他広報活動

## VIII 研修生、研修員及び研究者の受け入れ

- 1 京都大学 霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院動物園博物館実習
- 2 動物園実習
- 3 博物館実習
- 4 獣医学研修
- 5 連携研究員
- 6 中学校等の職場体験実習
- 7 高校生・大学生・専門学校生等のインターンシップ

## IX 飼育・展示及び収集・保存

- 1 飼育・展示
  - (1) 環境エンリッチメント
  - (2) 動物本来の姿を見せる展示の開発
  - (3) 動物本来の姿を引き出す飼育方法の開発
  - (4) 動物福祉に配慮した新たな飼育・展示の開発
  - (5) 園内案内板や霊長類のエピソード紹介看板等の設置、更新
  - (6) 外国人来園者の受け入れ体制の構築
  - (7) KIDSZOO における動物福祉に配慮したふれあい手法の開発
  - (8) 大学及び連携園と協力した飼育・展示手法の開発
    - ・夜行性動物の飼育環境の評価・改善など
  - (9) 動物病院
    - ・歯科検診プログラムの開発及び体脂肪計を用いた栄養評価方法の検討
- 2 収集・保存

- (1) 霊長類 繁殖と動物の福祉のための新規血統の導入、交換  
適正飼育頭数維持のための BL（ブリーディングローン）、譲渡
- (2) ふれあい動物 KIDSZOO へのふれあい動物の導入検討
- (3) 標本 骨格、脳、臓器、全身液浸、剥製、毛皮、寄生虫、組織、遺伝資料
- (4) 図書 海外図書、国内図書、専門雑誌、文献、機関誌、定期刊行物

## X 友の会活動

- 1 会員の募集
- 2 友の会のつどい開催
- 3 オンライン会員制度の運用
- 4 サポート会員専用ページの運営
- 5 サポーター感謝祭の開催

## X I 寄附活動

- 1 寄附システムの運用
- 2 情報公開
- 3 飼料の寄附受け入れマニュアル構築

## X II 施設整備

- 1 アフリカセンター油圧ゲート、シュートワイヤー交換
- 2 危険木の伐採、植栽整備
- 3 老朽化したインフラの更新・整備
  - ・給電、給水、排水、冷暖房
- 4 園内看板整備計画
  - ・園内種名看板の更新
- 5 チンパンジー放飼場やぐら改修工事
- 6 新アフリカ館（仮称）建設に向けての施設設計

## X III マネジメント

- 1 安全対策（作業手順の改訂、動物脱出訓練及び地震対策訓練の実施、地震火災等に対する施設点検及び改善、改修）
- 2 公益法人内部統制とコンプライアンス（動物愛護法、外来生物法、感染症法、麻薬取締法、獣医療法、銃刀法、個人情報保護法など）
- 3 職員教育（研究倫理、霊長類学講座 野生動植物研究、救急救命、労働安全衛生、消防防災訓練、刈払機講習、溶接講習、コンプライアンス、ハラスメント講習など）
- 4 会計ソフト更新

## 《収益事業》

- I 動物園付帯事業の経営
  - 1 ミュージアムショップの経営と新規商品開発
  - 2 自動販売機の設置
  - 3 飲食施設の設置と運営委託
  - 4 賃貸事業
    - (1) 犬山市大字犬山字官林他 土地建物  
賃貸先：京都大学  
目的：サルの飼育・繁殖・観察並びに教育研究
    - (2) 犬山市大字栗栖字古屋敷他 土地建物  
賃貸先：京都大学  
目的：霊長類の研究施設
    - (3) 犬山市大字善師野字小野洞他 土地  
賃貸先：京都大学  
目的：サルの飼育・繁殖・観察並びに教育研究
    - (4) 犬山市大字犬山字官林（JMC 管理棟） 建物  
賃貸先：京都大学  
目的：教育等
    - (5) 犬山市大字犬山字官林（JMC 管理棟） 建物  
賃貸先：(株)名鉄インプレス  
目的：日本モンキーパークの運営
    - (6) 犬山市大字犬山字官林 駐車場施設  
賃貸先：(株)名鉄インプレス  
目的：駐車場